



せんししょう苑 望洋荘 便り

第120号
平成25年
11月発行

我夢中の我が医療人生

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 混

私は現在のいわき市久之浜町に出生。山あり、川あり、東に太平洋が広がるという頗る恵まれた自然の中にあり、東北の湘南の名に価する地と思っております。高校を卒業するまでの十八年間は、穏やかで暖かい人達に囲まれて育った思いを強くしております。ピンク色のアカヤシオの咲き誇る阿武隈山系の一つである三森山のふもとから流れてくる水量豊かな大久川を眺めては思ったものだ。この川の鮭のように、広い太平洋を伸び伸びと泳ぎ、いつの日かこの故郷に帰ってこよう……。

ところが、平成二十三年三月十一日の東日本大震災と津波、その一ヶ月後の四月十一日の大余震の襲来は今までに培ってきた人生が皆無になるのではと思うほどの恐怖を感じた。久之浜の生家は津波に押し流され、町の繁華街は津波とその後の火災に見舞われ壊滅状態になりました。私どもの付属診療所、院長住宅も例外ではなく、多くの方々の援助のもとにやっとの事、三ヶ月後の復活でした。本院の須田医院、管理を任されている特老は建物の内外壁の一部損傷や受水槽の損壊が認められたものの、職員の一一致団結により休診や施設封鎖することなく地域医療や福祉に邁進することができました。それも懸命な長年にわたつての努力と経験が地域の方々にも認められ、且つ多くの皆様からの援助があつたお蔭であると思っております。この様な時期であるからこそ今まで経てきたことを振り返って、今後の在り様についてのご指導を同窓の諸兄姉に賜うことが出来ればと思ひ筆を執りました。

大学卒業後、インターンは東京医科歯科大学附属病院で、昭和四十一年からは、大

学院生として、尊敬する第二外科遠藤信一郎教授に師事。同時に基礎的研究も必要とのご指示があり、第二生理学の博識豊かな塚原進教授のもとでご教示を賜った。塚原教授は福医大に着任まもなくであり、福医大生としては、我々が初めての教え子であつた。兎にも角にも、研究生活は楽しかつた、の一言に尽きる。特に、第二外科・第二生理学の医局員の共同研究での思い出は数多く挙げる事が出来る。中でも超音波による検査(今日これほどの隆盛を見ようとは)、誘発脳波の検査(当時は1024ビットでの検討であり今日とは隔世の感あり)、炭素繊維や液晶の電気通電性の検討、脳神経外科患者の術前・術中・術後の脳脊髄液や髄液圧の検討(中でも髄液測定中の、突発的に持続髄圧上昇の状態を呈する現象「プラトーウェイブ」は、今もって不可解な現象であつたと思う。未だに解明されていないようだが)等々……。十三年間、上記のような研究生活を送れたことは、幸せであつたし、これも大学という組織の中で保護され、医局や同窓会の支援を受けてのことと感謝する次第です。

このこととひたすらに忍耐強く仕事を続ければ何かを得るのでしょうか、そこは凡人の凡人たる所以で、研究生活での能力に限界を感じ、臨床の第一線に飛び出しました。白石市の公立刈田総合病院に勤務。ここでも経験豊かな同窓先輩諸氏に暖かくご指導をいただき、医師として数多くの経験を積むことが出来ました。学生時代から慣れ親しんだ福島市での十九年間に別れを告げ、昭和五十四年三月、いわき市小島町に開業。年中無休で頑張つた。当時、いわき市には数名の同窓生だけで先輩の大歓迎を受けたのが昨日のように懐かしく思い出されます。(現在は、一三〇名以上の同窓生が勤務医・開業医として地域医療、福祉活動に参加し、当時を思うと目を見張るばかりの勢いです)昭和五十七年リハビリ棟増築。昭和六十年附属久之浜医院開設。調子に乗って昭和六十一年塩屋崎病院開設。平成十五年介護老人福祉施設『望洋荘』、平成二十三年には地域密着型介護老人福祉施設せんししょう苑、等の介護施設開設。と目まぐるしい三十三年間でありました。この三十三年を振り返ってみると開業後の十年間は外来と入院患者の診療の多忙さに明け暮れていた時期であり、医師会活動には無関心であつたことは否めない事実であります。その間に事もなく診療経営に携わ

れたのは目に見えないところで医師会や行政、同窓会のバックアップがあったことを忘れてはいなかったらうか。恥ずかしい限りです。その様な折に医師会から理事就任としての要請あり、現在も能力不足を十分に認識しながらも二十年余にわたり活動を続けているというのが現状です。医師会会員の医療活動支援はもとより、行政からの委託による医療、保健予防、福祉事業等への協力、特に平成十二年からの介護保険制度の開始にあつての事前準備は大変だつたなと思ひ起こしております。

更には、医師として市民への医療・保健・介護福祉活動は当然のことであつて、他に地域に還元できるものは何かないものかを考えてみました。日本WHO福島支部を誘致し健康フォーラムを県内各地にて活動。これに関しては市のみならず県内の同窓会員には多大の賛意とご支援をいただき心より感謝を申し上げます。娯楽の面では、市民に健康な笑いを届ける目的で「いわき寄席」を開始。二十年余にわたり続けており、現在百十八回(平成二十五年十一月時点百二十回)を数えております。勿論のこと落語家の絶大なる支援のもとに開催が出来ております。これらも自分だけのアイデアと力量で成せるものではなく多くの方々の支援と協力あつてもと常に感謝し、それを忘れないことが大事であると肝に銘じております。

あつという間の無我夢中の我が医療人生であつて、若かりし頃、広い太平洋との思ひはあつたが、結局は故郷の大久川河口付近の海を五十年間泳いだにすぎなかつたのでしょうか？

最後になりますが、今日、我々医師を取り巻く環境は誠に厳しいものがあるでしょう。医師自身が自己中心的になりすぎ、職業的良心を失いつつあるのが原因なのか、且つ又、価値観の多様化か、徒にマスコミ等のもたらす情報過多に起因するものなのか。誠に難しいものです。今こそ、医師として、より広い医学知識、繊細な感受性に包まれた新しい知性(優しさ)が求められているのではないのでしょうか。その認識を強く持ち、私はせめて狭い範囲でも地域に根ざした「やぼったい医師」にならんことを心がけ、今後の人生を歩みたいものと思つていきます。今後とも、同窓生諸兄姉のご指導を切に願つてやみません。

望洋荘の十周年・毎月発行していた便り百二十号を記念し、福島医大の同窓会報(第四十二号・平成二十五年二月発行)に書いた文章を掲載させていただきました。望洋荘の開設を含めた私の人生の一端をご理解いただければ誠に幸いです。

介護老人福祉施設 望洋荘



お刺身祭り



フラダンス披露



11月27日(水)午後より、お刺身祭りを行いました。メバチマグロ・びんちょうマグロ・中落ち(カツチャキ)・サーモン・鯛など、超新鮮なお刺身ばかりを、大皿に盛り付けていただき、お昼に合わせて食べました。久しぶりのお刺身に、皆さん、「美味しい」と言いながら、とてもご満悦に食されておりました。

11月23日(金)午前10時より、塩屋岬ホールにおいて、スパリゾートハワイアンズ OB/アルファ会様よる、フラダンス披露が催されました。初めにアルファ会代表の五十嵐昇様の挨拶の後、歌謡ショーが披露されました。次に、本田正子講師の紹介で映画フラガール主題歌♪フラガール～虹を～の曲を始めとして、しなやかな踊りが次々と披露されました。最後に恒例になっております、入居者様全員と握手をして記念撮影を行いました。



看取りに関する
研修会



豊間地区復興
支援マーケット



衣料品販売

11月26日(火)午後4時より会議室において、大友先生より『看取りに関する研修会』を開催いただきました。研修会には看護・介護・事務職員が出席して、看取りになられた入居者様やその家族への接し方等を講義いただきました。丁寧な講義内容で職員の認識を深めることが出来ました。大友先生ありがとうございました。

11月3日(日)豊間地区復興支援マーケットに外出しました。震災から2年8ヶ月が経とうとしていますが、まだまだ当時の悲惨な記憶を忘れることは出来ません。少しでも復興の支援になればという思いで毎月第一日曜日に開催しているとの事です。機会があれば、またみんなで出掛けて楽しみたいと思います。

11月17日(日)午前10時より中之作にある『菊屋商店』さんが衣料品販売に来荘して下さいました。お店でお買い物をする雰囲気を楽しんでいただきたく、商品のレイアウトも『菊屋』さんの方でお店感覚にして頂きました。これから、寒くなる時期ですので、防寒用の上つぱりや厚めのズボン下等を購入している姿が目立ちました。

地域密着型介護老人福祉施設 せんしょう苑

ケーキバイキング



十一月三日(日)午後三時より「ケーキバイキング」を開催しました。色とりどりのプチケーキやカップケーキをトレイに乗せて入居者様に好きな物を好きなだけ取って頂きました。女性の入居者様には大変好評でしたが、やはり男性にはいまひとつなのか?新聞記事の方が魅力的であったようです。その後に行われた「ぬいぐるみ抽選会」は盛況でした。それぞれのぬいぐるみに紐を付け、入居者様一本ずつ紐を引いてもらい当たったぬいぐるみが貰えるというものです。どんなぬいぐるみが当たるのか?みんなで見つめ、時には笑いが、時には溜息が出たりと、盛り上がっていました。

「釜飯」昼食会:みまや南ユニット



十一月二十五日(月)正午十二時より、釜虎から出前を取って「釜飯昼食会」をみまや南ユニットで開催しました。事前にメニューを見て食べたい物を聞き取り注文しました。今回の人気は一位が「うなぎ釜飯」次に「うに釜飯」でした。普段では食べられない「馳走」に皆様、目元口元が緩みぱっなしでした。好きな物、美味しい物を食べると人間は幸せな気持ちになるんだなあと実感しました。これからはみんなが、「美味しい」という食事を提供出来るように努力して行きたいと思っています。

感染症予防についてのお願い

寒さも段々と厳しくなってきました。この時期、風邪やインフルエンザやノロウイルスによる食中毒など感染症に注意が必要になってきます。気温が低く空気が乾燥して、ウイルスには一番過ごし易い時期なのです。入居者様の感染予防として、当法人では、入居者様・職員全員のインフルエンザの予防接種。面会者様や職員のマスク着用、手洗い及び手指の消毒の励行などの感染予防対策を行っています。

ご家族の皆様もご面会の際は、マスク着用と手洗い及び手指の消毒をお願いします。受付にマスクを備えております。また望洋荘・せんしう苑ともに手洗いと手指の消毒を行える場所を設置しておりますので、もしわからない時には職員にお聴きください。

また、ご面会の際、体調が優れない時や一週間以内に風邪やインフルエンザに罹っていた時、家族の中でも同じ状況があった時などは、しばらくの間ご面会をご自粛ください。

お越しの際、感染症の予防についてのお願いが、玄関のガラスや受付カウンターに貼っておりますので、お読み下さいますようお願いいたします。

感染症は、健常者の方々には感染しても軽い症状で終わってしまうことがあります。高齢者が感染しますと症状も重く、命にも係わる場合がございます。そのため施設としては、細心の注意をはらっております。何卒ご理解とご協力をお願いします。

【十二月の行事予定】

望洋荘

- 十二月 八日(日) 午後二時より
「十二月合同誕生会」 塩屋岬ホール
- 十二月二十二日(日) 午後二時より
「クリスマス会」 塩屋岬ホール



【十二月のお誕生日】

望洋荘

- 十二月 三日(火) 勿来ユニット
鈴木正一様 (九一歳) 誕生日
- 十二月 十五日(日) 豊間ユニット
四家フチ子様 (九五歳) 誕生日
- 十二月 二二日(日) 永崎ユニット
鈴木さつ子様 (八六歳) 誕生日

【十二月の行事予定】

せんしう苑

- 十二月十一日(水) 午前十一時より
「忘年会」 みまや東ユニット
- 十二月二二日(日) 午後二時より
「フラダンス」 みまや広場
- 十二月二五日(水) 午後二時より
「クリスマス会」 みまや広場

【十二月のお誕生会予定】

せんしう苑

- 十二月 一日(土) みまや 西ユニット
中村武男様 (八五歳) 誕生会
- 十二月 六日(土) みまや 西ユニット
網掛房様 (九二歳) 誕生会
- 十二月 十日(土) みまや 西ユニット
松崎貞子様 (七七歳) 誕生会
- 十二月 二九日(土) みまや 西ユニット
三浦ユキ子様 (九一歳) 誕生会

編集後記

『せんしう苑・望洋荘』 便り
平成二十五年十一月三十日発行
発行所 いわき市平豊間字合磯三十九番地
社会福祉法人 りんさく福祉会
地域密着型介護老人福祉施設 せんしう苑

電話 (0246) 3863331

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 557373